

第七回 がん川柳集

がん川柳五・七・五

がん患者の思いを川柳にのせて

独立行政法人 国立病院機構



大分医療センター

もくじ

刊行にあたって

院長 あいさつ…………… 1

総合支援センター長 あいさつ…………… 2

緩和ケアチームリーダー あいさつ…………… 2

優秀作品…………… 3

がん川柳作品…………… 9

「がん患者の思いを川柳にのせて」

がん川柳の啓発活動…………… 22

これまでのがん川柳啓発活動…………… 23

応募規約…………… 26

あなたの一句を…………… 27

おわりに…………… 28

各作品は、原文のまま掲載させて
頂いております。

刊行にあたって



院長
吉 伸 奈

今年も、全国からたくさんの方々に当院のがん柳に応募していただき、第七回がん柳柳を
登刊することができました。寄稿していただいた
方々に心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスパンデミックは三年目に
入り、現在は第六波が続いています。パンデミック
期が続くため、医療分野では感染症に目が
行きがちですが、一方で、病氣と闘われている
多くのがん患者さんが居ることには変わりがあり
ません。がんを患っているご本人とご家族の

方々は、感染症対策にさぞ気を配られていること
でしょうし、パンデミック前よりもたくさん
のストレスがかかっていることとお察しいたし
ます。

当院も、感染対策の一環として、入院患者
さんの面会にはテレビ面会を活用しています
が、コロナ前のようにご家族が自由に面会でさ
る状況ではありませんし、外来受診時にも色々
な制限を掛けざるを得ないため、がん患者さん
を始め病氣になった方の精神的ケアには苦心し
ているところです。また、新型コロナウイルス
感染患者さんの治療を行っている病院のうち多
くは、同時に地域でのがん診療の中心的役割を
兼ねていますので、限られた職員数で一生懸命
色々な仕事をさばっているのが医療現場の現状
です。それでももし皆様への配慮が十分に行き
届かないことが有りましたら、お詫び申し上
げます。

私たち医療従事者は、パンデミックが終息し
て、日常の生活が戻り、元通りの医療が出来る
日が早く来るように切望しています。

読者の皆様には、がん柳柳の一つ一つの句を
通して、命の大切さについて考えていただき、
病氣を持つ方に共感して優しい気持ちになっ
ただけると幸いです。



総合支援センター長
中村 雄介

今年も、がん川柳に多数のご投稿をいただき大変ありがとうございました。例年にもまして、力作が多く、優秀作を選定するのにたいへん苦慮いたしました。俳句として形にしていたただくことで、こちらの動きが伝わり、心情を共有することができました。句集をご一読いただくことで、さらに、寄り添っていただけるものと思います。



緩和ケアチームリーダー
高祖 英典

今回も皆様のご協力により「がん川柳集」を発行することが出来ましたことを感謝申し上げます。この取り組みを継続して患者さんやご家族の思いを汲み取る努力を続けながら、まだ表せられない思いがないか引き続き検討し、和らげていくことが出来るように取り組んでいこうと考えております。今後も皆様のさらなるご支援をよろしく願っています。

優
秀
作
品

優秀作品賞

背をさする

手のぬくもりや

涙あり

岐阜県
もうも

●作者からのメッセージ

義理の父が癌になりました。私も夫や子ども達とお見舞いに出かけました。病院では義理の母が父の背中をさすりながら、目に涙を浮かべ、「早く良くなって下さいね」と語りかけていました。その場面に感動して詠いました。

優秀作品賞

ガン告知

悔やまず生きろの

メッセージ

大阪府 豆助

● 作者からのメッセージ

技術の進歩があるといえどもがんはまだまだ怖い病気です。知らされると落ち込みます。一度きりの人生、悔いなく生きると前向きになって欲しい気持ちで作りました。

優秀作品賞

ガン故に

教えてくれた

家族愛

福島県
空水

● 作者からのメッセージ

妻が肺癌で逝ってから早二年半。「生きている物には、全て寿命がある。私のそれは、今がそれ。それだけの事」と妙に割り切り、見事な最期でした。かく云う私も夏に前立腺癌を罹患。妻に恥じない様、限りある命を大事にして行こうと思っています。

優秀作品賞

がん生還

普通の良さを

噛みしめる

埼玉県 まご命

●作者からのメッセージ

癌はわが家にとっては他人事だと思っていました。ところが妻が乳癌になり、目の前が真暗になりました。幸い早期発見で温存手術を受け退院できました。妻は退院後、学童保育の資格を取得し、普通の良さを噛みしめながら頑張っています。

優秀作品賞

医者患者

家族で治療

ワンチーム

徳島県
のりのり

●作者からのメッセージ

家族ががんの治療をしました。治療方針について医療関係の方々と家族でよく話し合い、納得のいく治療を受けさせることができました。おかげで元気になり今もバリバリ働いています。精神的にも随分支えていただき感謝、感謝です。

が
ん
川
柳
作
品

がんになり

感謝忘れず

完治まつ

滋賀県 ひるねする夫

がん転移

再手術で

今(日) を生き

滋賀県 ひるねする夫

リンパ腫

祖父の面影

影臥すや

熊本県

リンパ遊く

童心啞然

祖父偲ぶ

熊本県

手術後の

両手握れば

安堵感

岐阜県 くりん

治療薬

生きむと願ひ

喉流す

岐阜県 くりん

細き手に

浮き出る静脈

撫でてみる

岐阜県 もうも

「たくましい」

体も「魂」

抜けて「苦」に

東京都 さかきんぐ

ふくよかな

祖母さえ最後は

骨と皮

東京都 さかさんぐ

諦めぬ

ガン克服して

リベンジだ

大阪府 北斗

小吉を

笑ってきつと

消えたガン

長野県 登頂

告知受け

一途に生きよう

尽きるまで

福島県 孫七

麻酔覚め

生きてる実感

噛み締めた

福島県 孫七

負けるなよ

何が何でも

ガンに勝て

宮崎県 アカエタカ

闘病の

先に命の

灯り見ゆ

宮崎県 アカエタカ

ガンだけど

大黒柱だよ

お父さん

宮崎県 勝井マン

父の身に

がんアラートが

鳴り響く

宮崎県 勝井マン

限りある

人生意味に

しないエコ

大分県 婚活難民

ガンになり

朝一体調

君ラインする

北海道 ティーシャインちやくさん

朝一で

体調チエツク

君ラインする

北海道 ティーシャインちやくさん

がん検診

年々簡単

痛くなし

大阪府 浪速のドンファン

小腸は

がんが少ない

優れた臓器

大阪府 浪速のドンファン

がん家系

そんな言葉は

もはや死語

大阪府 ビコ

女医がいて

大腸検診

恥ずかしい

大阪府 ビコ

生存率

ゼロではないんだー！

ホッとした(っ) (こ)

愛知県 やよいの神

自分自身

信んじたんだから

任かせよう！

愛知県 やよいの神

真剣に

生と向き合う

妻愛し

福島県 空水

がん手術

卒中患う

母嘆く

宮城県 蹴杜

がん告知

受け取る覚悟

家族愛。

埼玉県

乳がんの

癒えて二年目

水着出す

東京都 牛鬼さん

がん治療

コロナ思えば

御し易し

東京都 牛鬼さん

華々し

治療の向上

古ナース

大阪府 哲ママ

癌なのに

先生愛し

寿命延び

東京都 山下時空

がんばって

見ようね例の

あの桜

兵庫県 行雲

寄り添って

消させぬ思い

命の灯

千葉県 江戸川散歩

わからない

苦だからそつと

そばにいる。

栃木県 星形ニンジン

乳房より

かけがえの無い

妻・命

岡山県 船谷耕山

人間に

恐れ騒がず

前向きに

岡山県 船谷耕山

後二年

通いなれたる

病院路

大分県

言葉なく

大事な人の

タバコ見る

山形県 どんちよう

セシウムを

嫌われながら

買い避ける

山形県
とんちよう

咳が出る

昔結核

今肺がん

京都府

かくれんぼ

鬼のがんから

隠れたい

京都府

日本の

ガンコントロール

世界一

愛知県
ばいなりい

生かされて

生きて絆の

深さ知る

大分県
六郷満山（大分）

マスクした

目が口よりも

よく語る

大分県
六郷満山（大分）

ガンに勝つ

支える愛の

深さ知る

大阪府
働き蜂ちえちゃん

ガンに勝つ

意気込みよりも

平常心

大阪府
働き蜂ちえちゃん

お見舞いは

日々の暮らしの

笑顔かな

福岡県

肝腎がん

早期発見

肝心だ

福島県
都事

がんになり

家族の絆

頑になり

福島県
都事

がん闘病

辞世の句には

未だ早い

千葉県
安田
蛸牛

がんはもう

不活の病と

思わない

千葉県
安田
蛸牛

癌笑い

ナチユラルキラー

増えて勝つ

埼玉県
だんでらいおん

ツライ身を

鼓舞し笑顔で

ガンに勝つ

埼玉県
だんでらいおん

家族の愛

それが珠玉の

特効薬

埼玉県

病友と

緩解誓い

前祝い

埼玉県

緩解を

祝い何時しか

還暦に

埼玉県

今月も

いつものメンバー

いつもの病室

愛媛県

大関雪乃山

さあ点滴

腕の血管

かくれんぼ

愛媛県

大関雪乃山

がん闘病

予想以上に

金かかる

大阪府

いつの日か

癌にワクチン

できたらな

大阪府

コロナ暦

めくる気おこる

ガン完治

青森県

脱コロナ

癌に勝ち

育ジイしてる

幸齢者

埼玉県

まご命

痛いよと

夜中編らす（尿をこぼす）な

我が親父

兵庫県 たけのこ

暴れるな

がんよお前と

共生だ

神奈川県 好日郎

平静な

われに驚く

がん告知

神奈川県 好日郎

年2回

定期健診

怠らず

奈良県

再検査

シンチグラフィー

転移なし

奈良県

「お前もか」

治療仲間は

同級生

徳島県 のりのり

生きてたい

この子二十歳に

なるまでは

東京都

めげそうに

なる副作用

でも耐える

東京都

活るから

笑って言えて

傷く勇氣

静岡県
桃李

メラノーマ

妻が癡見

感謝のみ

横浜市
あざみの
かかし

悪性も

早期癡見

長生きに

横浜市
あざみの
かかし

がん家系

耐えるよ俺は

親父の子

東京都

大丈夫と

大輪の笑み

家族の輪

岐阜県
アマリリス

もう十分

頑張ってるよ

弱音吐こう

岐阜県
アマリリス

クラス会

私もおれも

活ったよ

東京都
まこっちゃん

先生の

僕も活った

聞き安堵

東京都
まこっちゃん

頑張りど

夢をクスリに

混ぜて飲む

静岡県 春爺

進歩する

治療を信じ

前を向く

静岡県 春爺

全部取れ

医者の声高

手術室

京都府 高橋左橋

がん発見

余命の予定

箇条書き

千葉県

入院中

暇持て余し

銀座行く

千葉県

がんなんか

ぶっとばしてよ

お父さん!

埼玉県 子エミ (1985)

がんになる

急にすべてが

リアルになる

埼玉県 子エミ (1986)

父のがん

活かしドッグへ

親孝行

大阪府

ひ孫抱く

夢よ叶えと

がん検診

大阪府

ネガティブな

自分に勝つて

がんに勝つ

愛知県
澄海

負けないぞ、

がんに勝る

頑固心

富山県
あほんだくら

手を握り

心の痛み

分かち合おう

北海道
俳句
幸村



～がん患者の思いを川柳にのせて～ がん川柳の啓発活動



がん川柳表彰式



これまでのがん川柳啓発活動

がんチャリティーイベント
リレー・フォー・ライフ大分



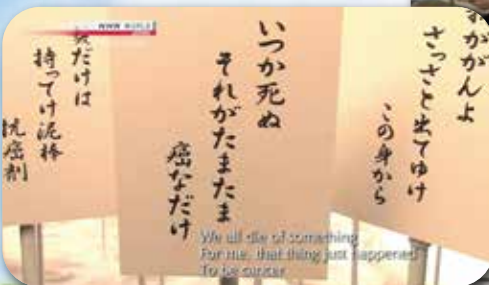
大分医療センター以外の
がんサロンで交流



外来フロア掲示



世界160ヶ国 テレビ放送



一般書店にて



テレビ全国放送



講演



新聞掲載



応募規約

【応募条件】

- ・作品の応募はおひとり様二点までとさせていただきます。
- ・二点を超えた応募の場合は選考対象となる二点を当主催者にて選定させていただきます。
- ・応募作品は応募者または第三者の個人情報が含まれていないものに限ります。

【作品取扱い】

- ・ご応募頂いた作品の著作権は著作者に帰属しますが、当主催者にはその使用权が許諾されます。
- ・当主催者は応募作品の作品集、もしくは書籍化、宣伝広告、ホームページなどにおいて無償で使用することができるとします。
- ・当コンテストに応募された作品の転載はご遠慮願います。

【作品制限】

- ・応募作品が以下の内容に該当すると当主催者が判断した場合、当主催者は事前の通知等なく展示をせず削減することができません。
- ・公序良俗に反している、またはそのおそれがあるもの。
- ・第三者の著作権その他の権利を侵害または、侵害するおそれのあるもの。
- ・第三者を誹謗中傷しているもの、またはそうとらえることができるもの。
- ・第三者のプライバシーの侵害、または侵害のおそれがあるもの。
- ・法令等の違反、またはそのおそれがあるもの。
- ・当コンテストの適正な運用の妨げ、またはそのおそれがあるもの。

あなたの一句を



日付 (/ /)

おわりに

最後まで読んで頂きありがとうございました。

このがん川柳集冊子の発行は、がんにかつわるエピソードや日頃の思いを、五・七・五の形式の川柳にのせて感情表出することで心のケアへ繋がったり、がん川柳にのせた思いを地域・社会へ発信することを目的として、二〇一五年三月に第一回目のがん川柳集を発刊しました。今回で七回目となり、これまで院内配布・掲示は勿論のこと、がんチャリティーイベントやがんサロン、大分県内各地のがん相談支援センターでの配布など、様々なところで発信を続けることができています。

がん川柳を通して、多くのがん患者さんやがん患者さんを支えているご家族、知人、支援者の方々の『がん』への思いを共有でき、皆さんの心の支えになってくれることを願っています。

今回、諸事情により発刊が大幅に遅れてしまい、楽しみにして下さっていた皆様へ心よりお詫び申し上げます。

最後に、本冊子を作成するにあたり、ご支援してくださったがん川柳を応募してくれた方々やがんサロンに参加してくれた方々、がん川柳に触れ共感してくれた方々、そして病院のスタッフ等に厚くお礼申し上げます。

がん相談支援センター
ローシヤルワーカー 村上英恵
緩和ケア認定看護師 古田聡美

第七回

がん川柳集

がん川柳五・七・五

（がん患者の思いを川柳にのせて）

発行日 二〇二三年六月三十日

発行・編集 独立行政法人国立病院機構

大分医療センター

大分市横田二丁目十一番四十五号
電話 〇九七―五九三―一一一

